

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2004-15655 (P2004-15655A)

【公開日】平成 16 年 1 月 15 日 (2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報 2004-002

【出願番号】特願 2002-169012 (P2002-169012)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 B 1/04

H 0 4 B 1/40

H 0 4 B 7/26

H 0 4 Q 7/38

【F I】

H 0 4 B 1/04 E

H 0 4 B 1/40

H 0 4 B 7/26 1 0 2

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 19 日 (2004.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

周囲に存在する他の通信機器と無線通信を行う通信装置において、
送信信号を処理する送信処理手段と、

上記送信処理手段の出力が選択的に供給される第 1 及び第 2 のアンテナであって、上記第 2 のアンテナは、グラウンドにあるインピーダンスで終端された信号線からなり、上記第 1 のアンテナの感度よりも、上記第 2 のアンテナの感度を低くすることを特徴とする、第 1 及び第 2 のアンテナと、

上記送信処理手段から他の通信機器を探索する探索信号を送信させる場合に、上記送信処理手段の出力を上記第 1 のアンテナあるいは第 2 のアンテナから出力させる出力制御手段であって、所定状態で送信させる場合に、上記第 2 のアンテナで送信を行い、その他の場合に、上記第 1 のアンテナで送信を行うことを特徴とする出力制御手段と、
を備えた

通信装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の通信装置において、

上記出力制御手段で送信出力を規制させる場合に、さらに上記送信処理手段が備える送信アンプのゲインを低くする

通信装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載の通信装置において、

上記第 1 および第 2 のアンテナは、受信信号を処理する受信処理手段にも接続されており、上記第 1 のアンテナおよび第 2 のアンテナが受信して受信処理手段に選択的に供給される信号についても、上記受信処理手段に供給する

通信装置。